

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、 国立国際医療研究センター病院 腎臓内科・神経内科・膠原病科では、本センターで保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 視神経脊髄炎関連疾患に対するアフェレシス療法の予後改善効果の検討

[研究対象者]

2016年10月1日～2027年12月31日までの間に、国立国際医療研究センター病院神経内科または膠原病科にて視神経脊髄炎関連疾患(NMOSD)と診断され、腎臓内科で血漿交換療法（アフェレシス療法）を受けられた方

[利用する診療情報等の項目と取得方法]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、バイタル、ADL、血液学的検査（赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球分画）血液生化学検査(総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、LDH、ALP、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、カリウム、塩素、血糖、ヘモグロビン A1C、総コレステロール、LDL コレステロール、HDL コレステロール、CRP)、抗体検査(抗 AQP4 抗体)、画像検査(頭部 MRI, 脊髄 MRI)

カルテから上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的] (遺伝子解析研究：無)

視神経脊髄炎関連疾患に対するアフェレシス療法の予後改善効果について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2028年3月31日までの間（予定）

-----  
[この研究での診療情報等の取扱い]

本センター倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する診療情報等から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立国際医療研究センター 理事長 国土 典宏

研究責任者：国立国際医療研究センター 腎臓内科 血液浄化療法室統括医 片桐 大輔

研究内容の問合せ担当者：国立国際医療研究センター 腎臓内科 血液浄化療法室統括医 片桐 大輔

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）

作成日： 2024年 2月 19日 第 1.3版